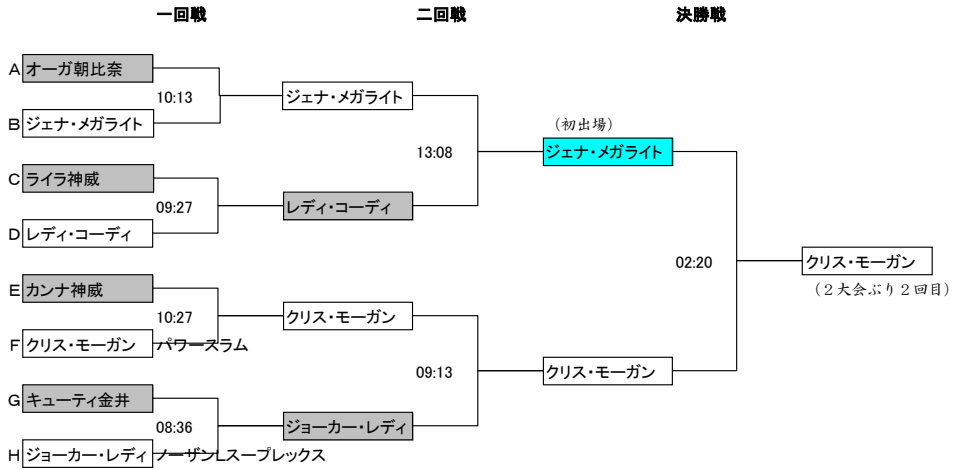


第6回レスル・ワンナイトトーナメント

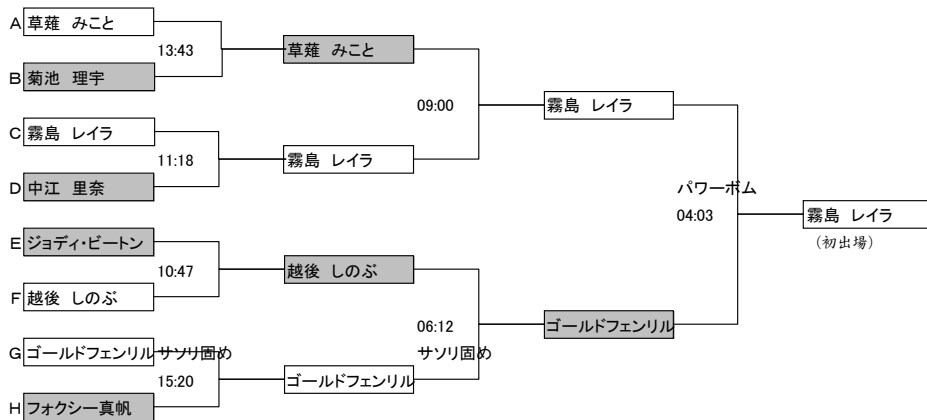
地方大会・北海道 ※北海道は代表2名：ブロック決勝での敗者も決勝トーナメント進出。



『観戦記』

毎回、吸い寄せられるように世界各地から強豪が集結してしまう北海道地区。今回も大会屈指の激戦区となってしまいました。3回連続で全国大会を制覇している北海道地区代表ですが、今回は全国大会より地区大会のほうが厳しいかもしれません。……そして、1回戦で前回全国覇者のカンナ神威を含め、日本人選手全滅！ 恐ろしや北の大地。優勝は1回戦、2回戦、決勝とすべてニードで止めを刺したクリス・モーガンでした。

地方大会・東北



『観戦記』

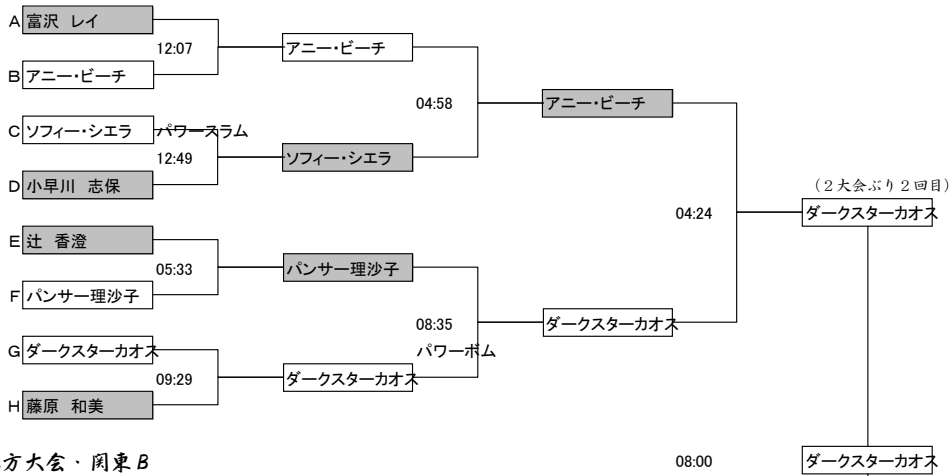
過去5回大会の優勝者がすべて異なる唯一のブロック、混戦の東北地方。

台風の目となる外国勢は、人気のジョディと実力のゴールドフェンリル。

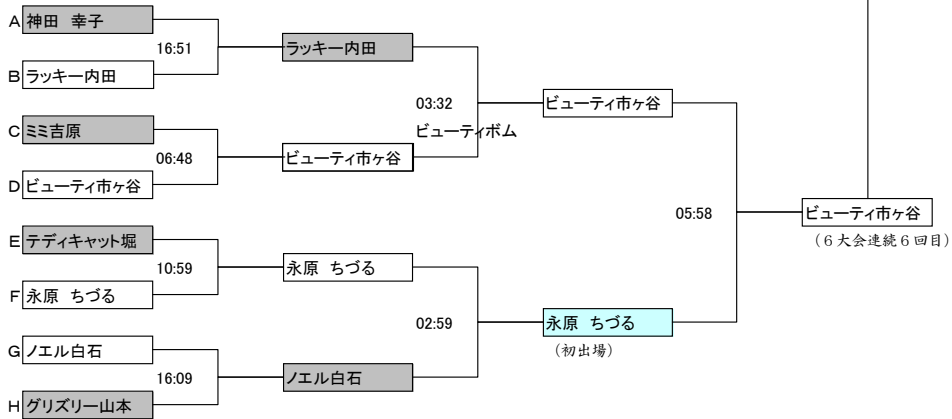
結果は、また新たなチャンプの誕生です。鬼軍曹・霧島レイラ、初の栄冠！

それにしても菊池は苦しい。サブハイパー2ではもう少し成長してくれることを希望します(特に防御力)……。

地方大会・関東A



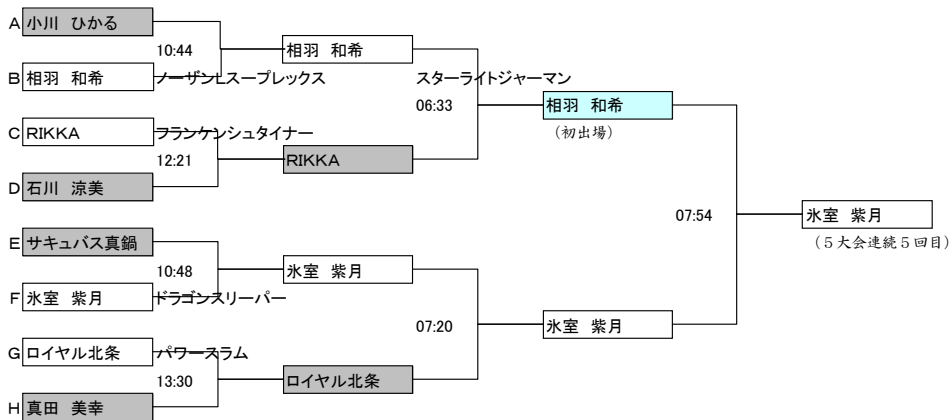
地方大会・関東B



『観戦記』

抽選の偶然で、海外4強が全員参戦してしまった本大会。関東には無敗のDSカオスが上陸です。阻止できるか日本勢？！
 A地区では、藤原が必殺技でDSカオスを削るも、後続のパンサー、アニー・ビーチが決め手を欠き。DSカオスの順当勝ち。
 B地区でグリズリー山本がまさかの1回戦負け。連続決勝トーナメント出場がストップ。
 市ヶ谷は気合十分。初の地区決勝進出の永原をも粉砕。
 しかし……カオスを止めることはできず。DSカオスの無敗伝説は関東地方をも制覇してしまいました。
 そして、永原ちづるが6回目の大会にしてWCでついに初出場を勝ち取りました。おめでとう！

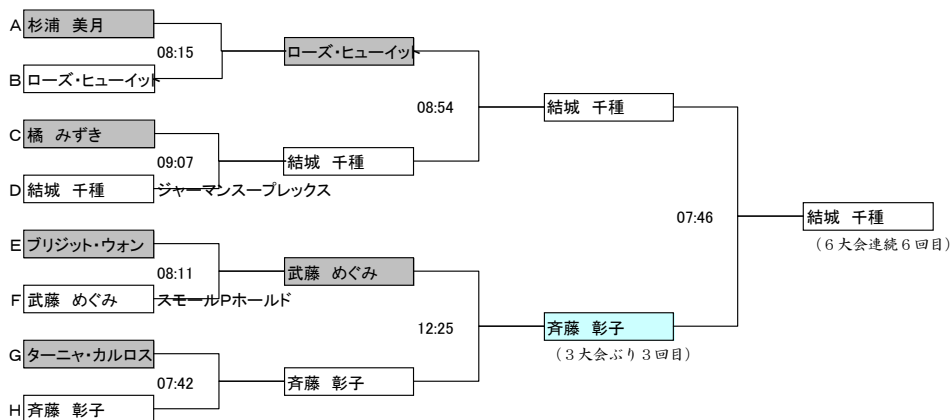
地方大会・甲信越



『観戦記』

無風地区。氷室が5大会連続の優勝を決めました。
 ロイヤル北条はどうしても氷室の壁を越えることができません。
 関係ないですが、氷室のヒップアタックは良いものです。

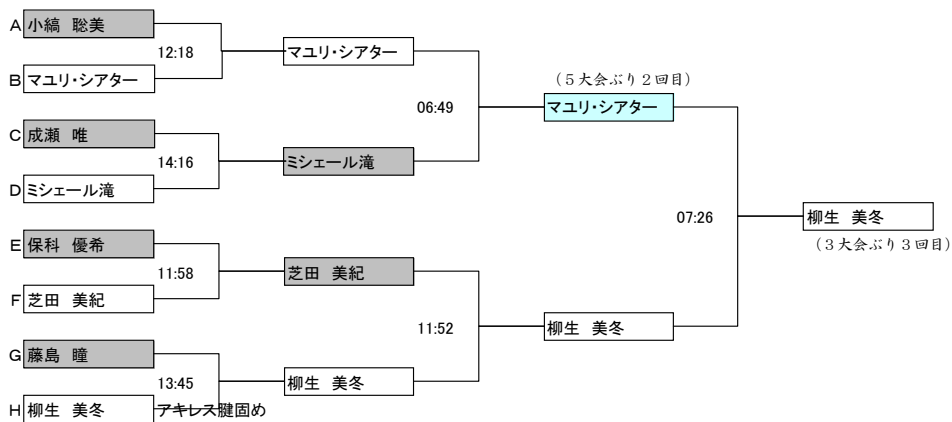
地方大会・東海



『観戦記』

過去5大会すべてを制した結城千種。今回もこの常勝体制は続くのでしょうか、東海地区です。
 ライバル武藤は1回戦、強敵のブリジット・ウォンをまだ体力が残っている状態でスモールPホールドに仕留め、今度こそと期待感を漂わせます。
 ……が、近畿チャンプ・斉藤の掌底に終始試合をリードされ、最後はまさかのトベ・レベルサによる3カウント！
 武藤、ひょっとしてホントに弱いのではないのでしょうか？
 決勝は結城がコブラから華麗なバックドロップで1本、6連覇を飾りました。

地方大会・近畿



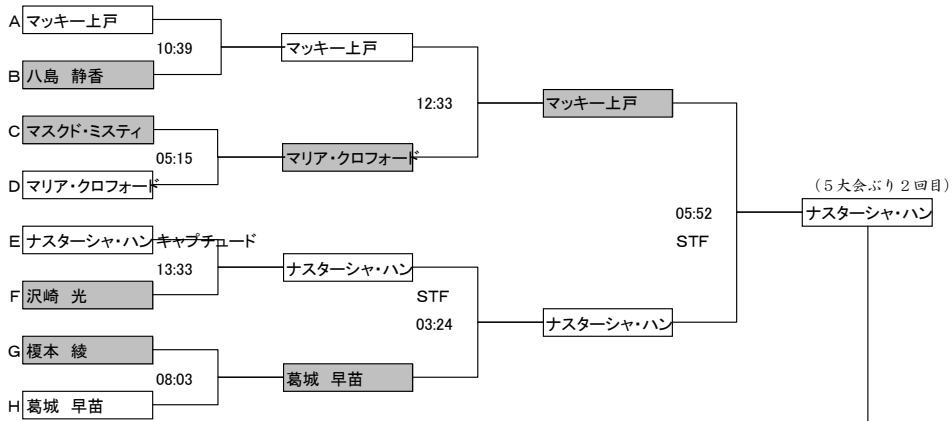
『観戦記』

中国地区に移籍していた兵庫出身のミシェール滝が再び戻ってきた近畿地方大会。

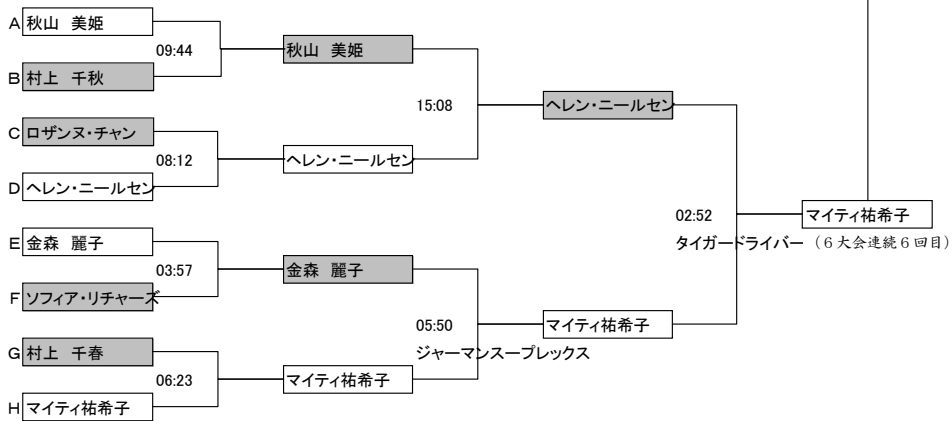
海外からは中堅のマユリ・シアターを迎え、今回も混戦が予想されます。

勝ったのは決勝で打撃戦を制した柳生。2大会連続優勝、3大会連続決勝トーナメント進出です。柳生は近畿で一步抜け出たかの感があります。

地方大会・中国A



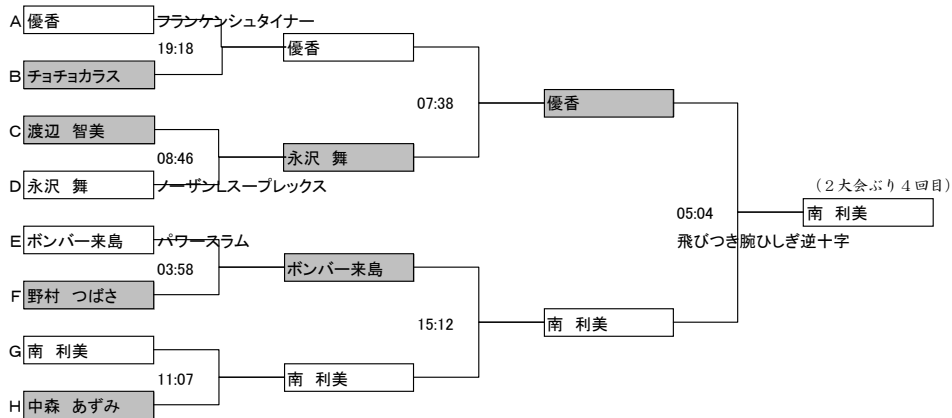
地方大会・中国B



『観戦記』

海外4強の1人、関節のナスターシャ・ハンが乱入した中国地区。
 そのナスターシャ、1回戦で沢崎に極限まで体力を削られての辛勝も、2回戦は体力MAXの葛城を殴られた後の2手目に極めたSTFで瞬殺。
 A地区決勝では闘志満々のマッキー上戸に初手からSTF。粘ったものの壊れちゃいましたマッキー！
 一撃必殺でナスターシャ・ハンが2度目の決勝トーナメント進出です。
 B地区では炎の女帝マイティ祐希子が負けじとタイガードライバー2連発でヘレン・ニールセンを圧殺。
 地方決勝はマイティ祐希子が終始ペースを掴み危なげなく勝利。ナスターシャ・ハンは追い詰めた状態では最悪か。

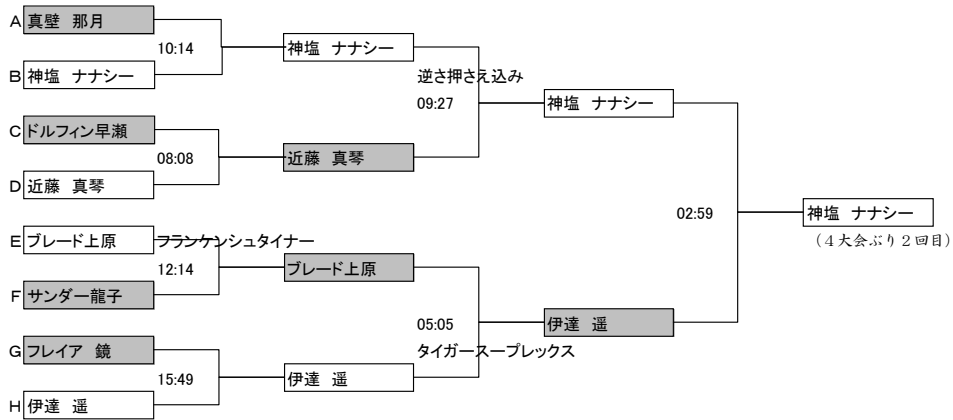
地方大会・四国



『観戦記』

南利美の一強体制から、九州・福岡の来島と永沢の参入、そして今度は中国から侮れない優香が編入され、回を重ねるごとに激戦度を増している四国地区。今回は海外からチョコカラスも参戦し、ハイレベルの闘いが予想されます。勝ち上がったのは、中国地方の臥龍・優香。チョコカラスと永沢を破っての決勝進出は見事！そして前回1回戦負けの南利美がボンバー来島を破って堂々と決勝へ。決着は……南利美が情け無用のゴング直後・飛びつき腕ひしぎ2連発で圧勝。全国女王の座・奪回を目指して決勝トーナメント進出を決めました。

地方大会・九州



『観戦記』

大波乱！ サンダー龍子、敗れる。

奈勝が予想されたブレード上原戦。序盤、サンダー龍子はパワー攻撃でブレード上原に付け入る隙を与えず。

しかしここからブレード上原、必殺カード2枚出し、カウント2.9返しなどで両者体力ゼロとなるまでサンダー龍子を追い詰め、

最後は場外乱闘直後のサンダー龍子のコブラツイストをローブレイクでしのぐと、ブレード上原のフランケンシュタイナーでサンダー龍子が宙を舞い決着

しかしそれで力尽きたかブレード上原、2回戦で伊達とも体力ゼロ同士となる戦いで散る。

さらに力尽きたか伊達遥、決勝で神塩ナナシーのフライングニールキックに呆気なく崩れる。神塩ナナシー、漁夫の利で初優勝です。

<予選>

・ワンナイトトーナメント、L3で開催(16名地区は16名トーナメント)。

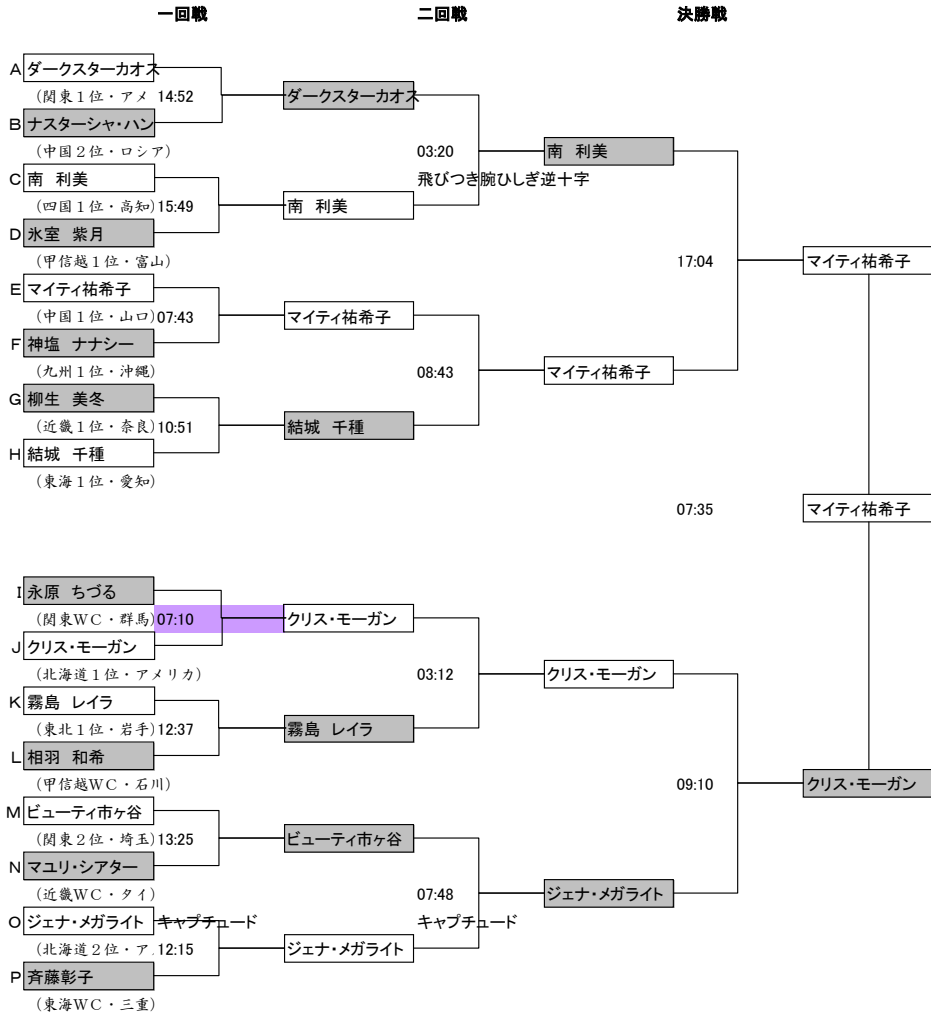
・各地区の選手数は8の倍数とし、足りない選手はランダムで海外選手を選抜し招待した。

その上で、各地区ごとに抽選を実施し、組み合わせを決定した。

・各ブロック1位、およびWCとしてブロック決勝での試合時間上位4名が決勝進出。

WC: 相羽 和希、斉藤 彰子、マユリ・シアター、永原 ちづる

第6回決勝トーナメント大会



『観戦記』

海外4強そろいぶみとなった史上最強の全国大会。マユリ・シアター・シアターを加えて海外勢5名は大会史上最多です。

出場回数では市ヶ谷、結城千種、祐希子が6回連続、それに氷室の5回が続きます。

初出場は待望の2人、相羽和希と永原ちづる。反面、常連のカンナ神威、サンダー龍子は予選落ちです。

1回戦。ダークスターカオスとナスターシャ・ハンの激突は、両者体力ゼロにまでもつれる激戦の末、カオスの火殺勝ち。

永原ちづるは一発も投げを打てず惨敗、残念。

斉藤はメガライトに惜敗。予選で武藤を下した実力は本物、と見せつける一戦でした。

2回戦。ついにダークスターカオス墜つ！ ナスターシャ戦でボロボロのカオスを、南が容赦なく2撃で仕留めました！

準決勝は、日本とアメリカそれぞれの強豪対決。準決勝で17分の激闘を繰り広げたマイティと南はまさに怪物。

決勝、日米対決。巧みな試合運びとパワー構成で土壇場まで追い込まれながらも、炎の女王がS・ウィザード連発で逆転勝利。

<決勝>

- ・ワンナイトトーナメント(16名)、L3で開催。

- ・優勝者の所属地区は、次回大会の決勝進出枠を+1名とする。

優勝者所属地区：中国(マイティ祐希子)

- ・1回戦で最短試合時間で負けた地区は、隣地区と隣接県出身者から2名、隣地区へ移籍とする。

ただし、その地区が優勝者の所属地区だった場合は、このペナルティは免除とする。

ペナルティ地区：関東(永原 ちづる)